

令和2年度老人保健健康増進等事業

介護保険事業計画における課題への対応状況に関する調査研究事業

株式会社三菱総合研究所

介護保険事業計画作成に当たっては、地域課題や政策課題への対応を検討しそれを反映することとされており、調査方法や計画作成委員会の設置については国が提示しているところである。一方、各保険者において、調査や関係者からの聞き取りによって把握された地域課題をどのように次期計画に盛り込んでいくかは、計画作成過程での議論に委ねられている。

本事業は、第8期介護保険事業計画及びその作成過程の実態を調査・分析し、介護保険事業計画の在り方及び地域課題への対応方法の研究材料とするために実施した。

また、大都市部では、2040年に向けて介護サービス利用者数が増え続けると見込まれる。増大する介護需要に対応するため、保険者は効率的・効果的な整備をする必要がある。そこで、大都市部において第8期介護保険事業計画に基づき必要な整備が進むよう、第6期、7期で計画どおり基盤整備できている保険者がどのように各種課題に対応したかを調査し、好事例としてまとめ、保険者に普及することも目的として実施した。

具体的に行った取り組みは、以下のとおりである。

- ① 第7期計画で実施されてきたPDCAサイクルの運用を受けて初めて策定される第8期介護保険事業計画において、その作成過程及びPDCAサイクルの結果として把握された地域課題への対応方法について保険者を対象としてアンケート調査を行い、第7・8期計画における「取組と目標」の設定状況、第7期計画における「取組と目標」やサービス見込み量の進捗管理、第8期計画作成に関する調査結果を取りまとめた。
- ② 大都市部では、2040年に向けて介護サービス利用者数が増え続けると見込まれる。増大する介護需要に対応するため、保険者は効率的・効果的な整備をする必要がある。一方、地方部では第8期以降、サービス需要が頭打ちになる状況を見据えた基盤整備を行う必要がある等、各保険者において様々な各種課題が想定されている。そこで、第8期介護保険事業計画に基づき必要な整備が進むよう、第6期、7期中に各種課題に対応し、基盤整備を行っている保険者に対し、どのように各種課題に対応したかを調査を実施した。

検討結果は、「介護保険事業計画における課題への対応状況に関する調査研究事業」としてとりまとめた。今後、インターネットで公開し、第8期介護保険事業計画におけるPDCAサイクルの運用や、介護基盤整備のための各種課題への対応に役立つことを期待している。